

14時30分解禁

平成25年6月 全国百貨店売上高概況

平成25年7月18日

I. 概況

1. 売上高総額	5,167億円余
2. 前年同月比	7.2% (店舗数調整後/2か月連続プラス)
3. 調査対象百貨店	85社 243店 (平成25年5月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,177,566㎡ (前年同月比:-1.8%)
5. 総従業員数	82,464人 (前年同月比:-3.6%)
6. 3か月移動平均値	11-1月 0.2%、12-2月 -0.4%、1-3月 1.5%、 2-4月 1.3%、3-5月 2.1%、4-6月 3.1%

[参考] 平成24年6月の売上高増減率は-1.2% (店舗数調整後)

【6月売上の特徴】

2か月連続プラスとなり、増加率も7.2%と昨年3月(+14.1%)以来の高い伸びを示した。

今年6月は、全国的に気温が高く好天に恵まれたことや、多くの店で前年7月スタートだった夏のセールを6月末に前倒ししたこと、更には休日が前年同月比1日増であったことなどのプラス要素が重なり、主力の夏物ファッション商材が二桁増(衣料品:+10.5%)となるなど好調に推移した。また、宝飾品・高級時計(美・宝・貴:+16.3%)やラグジュアリーブランド(身のまわり品:+14.0%)など高額品が引き続き活況を示したほか、中元商戦の早期受注が堅調(その他食料品:+1.6%)であったことも、売上の増加傾向に弾みを付ける要因となった。

その他当月の特徴的な動向としては、商品別売上高において主要5品目(衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品、食料品)が2か月連続で前年をクリアしたこと、地区別売上高も広島を除く全地区で前年をクリアしたこと、年初から拡大基調が続く訪日外国人は、円安や東南アジアの急伸を背景に売上・客数共倍増(売上:+105.9%/客数:+100.0%)したこと、などが報告されている。

なお、今年1月～6月の半期累計売上高は3兆20億円余(店舗数調整後増減率+2.3%)となった。

【要 因】

- (1) 天 候 : 気象庁発表「6月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)
 - ◇ 月の中旬までは暖かい高気圧に覆われ、南からの暖気の影響も受けたため、全国的に気温は高かった。また、月前半は、ほぼ全国的に降水量が平年を下回った。月後半は、梅雨前線が活発化し東日本以西で降水量が多かった。
- (2) 営業日数増減 29.9日 (前年同月比±0.0日)
- (3) 土・日・祝日の合計 10日 (" +1日/日曜・1日増)
- (4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数134店舗)
 - ①増加した: 65店、②変化なし: 36店、③減少した: 33店
- (5) 6月歳時記(中元、父の日)の売上 (同上/有効回答数127店舗)
 - ①増加した: 38店、②変化なし: 62店、③減少した: 27店

全国百貨店 売上高速報 2013年06月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	516,765,618	100.0	7.2 (7.0)
10都市	346,389,602	67.0	9.3
札幌	12,496,903	2.4	8.6
仙台	6,978,287	1.4	4.1
東京	136,682,461	26.4	9.4
横浜	31,762,741	6.1	7.6
名古屋	31,183,180	6.0	10.5
京都	19,334,639	3.7	5.3
大阪	68,827,676	13.3	15.5
神戸	13,023,413	2.5	0.7
広島	10,764,882	2.1	-2.2
福岡	15,335,420	3.0	9.1
10都市以外の地区	170,376,016	33.0	3.2 (2.6)
北海道	2,809,415	0.5	4.0
東北	8,860,352	1.7	3.7
関東	82,508,538	16.0	1.9 (1.0)
中部	12,965,028	2.5	4.4
近畿	17,446,740	3.4	3.5
中国	12,071,752	2.3	5.0 (1.7)
四国	9,079,679	1.8	7.3
九州	24,634,512	4.8	4.5

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	516,765,618	100.0	7.2 (7.0)
紳士服・洋品	37,232,419	7.2	7.5 (7.2)
婦人服・洋品	111,148,056	21.5	11.5 (11.3)
子供服・洋品	10,427,238	2.0	15.2 (14.9)
その他衣料品	12,971,060	2.5	7.1 (6.8)
衣 料 品	171,778,773	33.2	10.5 (10.3)
身のまわり品	66,839,105	12.9	14.0 (13.8)
化粧品	28,076,237	5.4	6.0 (5.6)
美術・宝飾・貴金属	28,757,935	5.6	16.3 (15.6)
その他雑貨	18,508,829	3.6	3.6 (3.5)
雑 貨	75,343,001	14.6	9.1 (8.7)
家 具	6,331,645	1.2	0.7 (0.6)
家 電	2,010,967	0.4	5.8 (5.7)
その他家庭用品	16,826,658	3.3	8.6 (8.4)
家 庭 用 品	25,169,270	4.9	6.3 (6.1)
生 鮮 食 品	31,269,948	6.1	-0.1 (-0.3)
菓 子	35,927,390	7.0	1.5 (1.2)
惣 菜	29,646,089	5.7	2.2 (2.1)
その他食料品	50,534,423	9.8	1.6 (1.2)
食 料 品	147,377,850	28.5	1.3 (1.1)
食 堂 喫 茶	14,858,154	2.9	6.8 (6.8)
サ ー ビ ス	5,455,673	1.1	0.0 (0.0)
そ の 他	9,943,792	1.9	-2.2 (-2.2)
商 品 券	20,607,151	4.0	-2.0 (-2.2)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | 9.3% (6か月連続プラス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | 3.2% (店舗数調整後 / 3か月ぶりプラス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	9.3	6.1	6か月連続プラス
札幌	8.6	0.2	2か月連続プラス
仙台	4.1	0.1	2か月連続プラス
東京	9.4	2.4	6か月連続プラス
横浜	7.6	0.5	4か月連続プラス
名古屋	10.5	0.6	8か月連続プラス
京都	5.3	0.2	2か月連続プラス
大阪	15.5	1.9	8か月連続プラス
神戸	0.7	0.0	3か月ぶりプラス
広島	-2.2	0.0	5か月連続マイナス
福岡	9.1	0.3	2か月連続プラス
10都市以外の地区	3.2	1.1	3か月ぶりプラス
北海道	4.0	0.0	15か月ぶりプラス*
東北	3.7	0.1	3か月ぶりプラス*
関東	1.9	0.3	3か月ぶりプラス
中部	4.4	0.1	3か月ぶりプラス
近畿	3.5	0.1	3か月ぶりプラス
中国	5.0	0.1	2か月連続プラス*
四国	7.3	0.1	2か月連続プラス
九州	4.5	0.2	7か月ぶりプラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品と雑貨が8か月連続、衣料品、家庭用品、食料品が2か月連続のプラスと2か月連続で全品目がプラスとなった。また、美術・宝飾・貴金属が10か月連続、菓子が6か月連続、家具が5か月連続、化粧品が4か月連続、紳士服・洋品、婦人服・洋品、惣菜が2か月連続のプラス、家電が2か月ぶり、子供服・洋品、その他雑貨が3か月ぶり、その他食料品が5か月ぶり、その他衣料品、その他家庭用品が7か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	7.2	—	2か月連続プラス
紳士服・洋品	7.5	0.5	2か月連続プラス
婦人服・洋品	11.5	2.4	2か月連続プラス
子供服・洋品	15.2	0.3	3か月ぶりプラス
その他衣料品	7.1	0.2	7か月ぶりプラス
衣料品	10.5	3.4	2か月連続プラス
身のまわり品	14.0	1.7	8か月連続プラス
化粧品	6.0	0.3	4か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	16.3	0.8	10か月連続プラス*
その他雑貨	3.6	0.1	3か月ぶりプラス*
雑貨	9.1	1.3	8か月連続プラス
家具	0.7	0.0	5か月連続プラス
家電	5.8	0.0	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	8.6	0.3	7か月ぶりプラス
家庭用品	6.3	0.3	2か月連続プラス
生鮮食品	-0.1	0.0	15か月連続マイナス*
菓子	1.5	0.1	6か月連続プラス*
惣菜	2.2	0.1	2か月連続プラス*
その他食料品	1.6	0.2	5か月ぶりプラス*
食料品	1.3	0.4	2か月連続プラス
食堂喫茶	6.8	0.2	8か月連続プラス
サービス	+0.0	0.0	2か月連続プラス
その他	-2.2	0.0	6か月連続マイナス
商品券	-2.0	-0.1	28か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

平成25年6月 東京地区百貨店売上高概況

平成25年7月18日

I. 概況

1. 売上高総額	1,366億円余
2. 前年同月比	9.4% (6か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭9.8%(89.7%) : 非店頭5.6%(10.3%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成25年5月対比±0店)
5. 総店舗面積	898,885㎡ (前年同月比:-1.4%)
6. 総従業員数	19,495人 (前年同月比:0.3%)
7. 3か月移動平均値	11-1月 0.7%、12-2月 0.3%、1-3月 3.2%、 2-4月 3.8%、3-5月 4.6%、4-6月 5.6%

[参考] 平成24年6月の売上高増減率は-0.1% (店舗数調整後)

【6月売上の特徴】

- (1) 東京地区売上は全国水準以上の高い伸びを示した。好天、セール前倒し、休日1日増といったプラス要素に加え、改装・増床効果が続く複数の店舗があったこと、さらには閉店売尽しの効果もあって、商況全体を押し上げる結果となった。
- (2) 主力の衣料品は15%増と極めて活況であった。セール品だけでなくプロパー商材も良く動いており、最近の上質・価値志向の消費トレンドが見て取れる。
- (3) 今年の父の日商戦では、柄物シャツ、ポロシャツ、カラーパンツ等のカジュアル衣料が好調だった。メンズ市場においてもファッション性の高い商材の動きが目立っている。
- (4) 好天に恵まれた結果、夏の季節商材が好調に推移した。具体的には、ゆかた、サンダル、日傘、サングラス、UVコスメ等の需要が高かった。
- (5) 高額品は高級時計を中心に引き続き堅調に推移し、宝飾・美術を合算し3割増となった。
- (6) 東京地区主要店の7月17日現在までの速報値は、概ね1%減で推移している。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
①増加した: 12店、②変化なし: 5店、③減少した: 2店
- (3) 6月歳時記 (中元、父の日) の売上 (同上/有効回答数19店舗)
①増加した: 7店、②変化なし: 7店、③減少した: 5店

東京地区百貨店 売上高速報 2013年06月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	136,682,461	100.0	9.4
紳士服・洋品	10,769,446	7.9	9.3
婦人服・洋品	25,752,955	18.8	17.6
子供服・洋品	1,924,296	1.4	13.9
その他衣料品	2,869,390	2.1	15.7
衣 料 品	41,316,087	30.2	15.0
身のまわり品	18,979,324	13.9	15.4
化粧品	6,921,236	5.1	5.9
美術・宝飾・貴金属	9,484,425	6.9	30.7
その他雑貨	5,703,539	4.2	2.0
雑 貨	22,109,200	16.2	14.0
家 具	2,024,844	1.5	-1.8
家 電	1,233,759	0.9	9.5
その他家庭用品	4,816,852	3.5	19.2
家 庭 用 品	8,075,455	5.9	11.7
生 鮮 食 品	6,225,160	4.6	0.6
菓 子	9,424,032	6.9	-1.1
惣 菜	7,160,969	5.2	0.8
その他食料品	14,461,689	10.6	0.2
食 料 品	37,271,850	27.3	0.0
食 堂 喫 茶	3,288,447	2.4	6.4
サ ー ビ ス	2,246,265	1.6	-7.0
そ の 他	3,395,833	2.5	5.3

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

商 品 券	5,283,849 千円	-5.2
従 業 員 数	19,495 人	0.3
店 舗 面 積	898,885 m ²	-1.4

営 業 日 数	30.0 日	前年	30.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品が8か月連続、衣料品が5か月連続、雑貨が4か月連続、家庭用品が3か月連続、食料品が3か月ぶりのプラスと13か月ぶりに全品目がプラスとなった。また化粧品が11か月連続、美術・宝飾・貴金属が6か月連続、紳士服・洋品、婦人服・洋品が5か月連続、その他衣料品が3か月連続、その他家庭用品、生鮮食品、惣菜、その他食料品が2か月連続のプラス、家電が2か月ぶり、子供服・洋品が7か月ぶり、その他雑貨が14か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	9.4	—	6か月連続プラス
紳士服・洋品	9.3	0.7	5か月連続プラス
婦人服・洋品	17.6	3.1	5か月連続プラス
子供服・洋品	13.9	0.2	7か月ぶりプラス
その他衣料品	15.7	0.3	3か月連続プラス
衣料品	15.0	4.3	5か月連続プラス
身のまわり品	15.4	2.0	8か月連続プラス
化粧品	5.9	0.3	11か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	30.7	1.8	6か月連続プラス*
その他雑貨	2.0	0.1	14か月ぶりプラス*
雑貨	14.0	2.2	4か月連続プラス
家具	-1.8	0.0	5か月ぶりマイナス
家電	9.5	0.1	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	19.2	0.6	2か月連続プラス
家庭用品	11.7	0.7	3か月連続プラス
生鮮食品	0.6	0.0	2か月連続プラス*
菓子	-1.1	-0.1	3か月連続マイナス*
惣菜	0.8	0.0	2か月連続プラス*
その他食料品	0.2	0.0	2か月連続プラス*
食料品	+0.0	0.0	3か月ぶりプラス
食堂喫茶	6.4	0.2	8か月連続プラス
サービス	-7.0	-0.1	3か月連続マイナス
その他	5.3	0.1	2か月連続プラス
商品券	-5.2	-0.2	26か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>